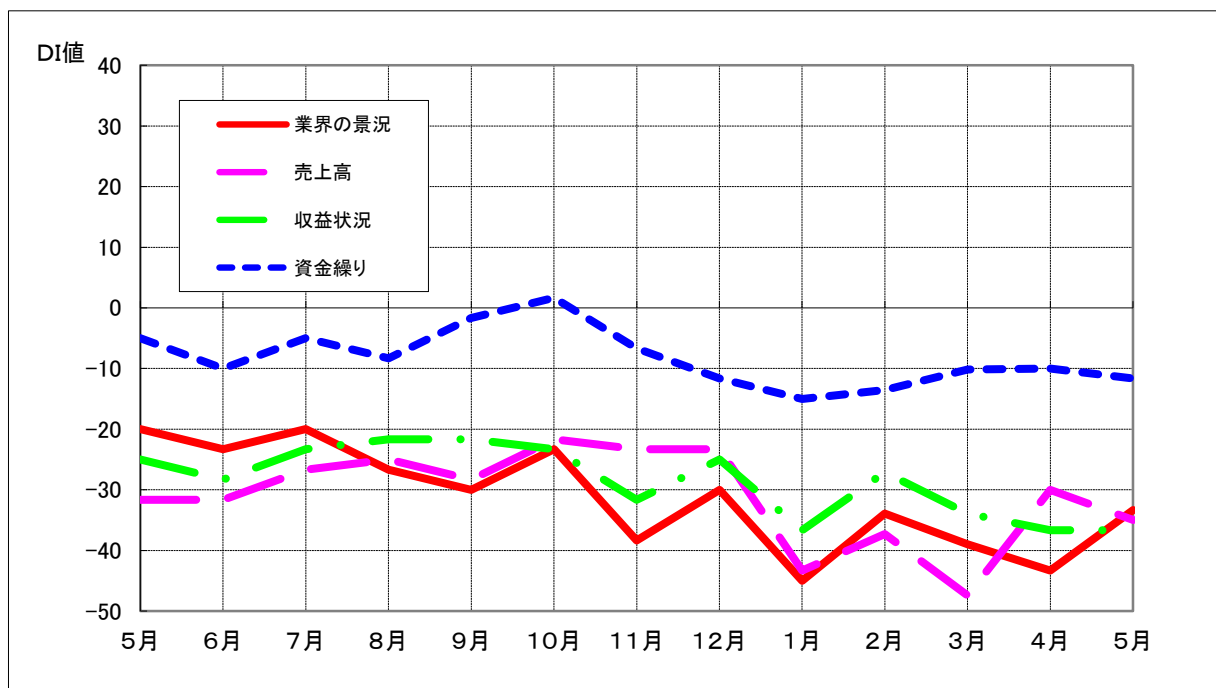


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成26年5月～平成27年5月

単位:ポイント



	H26					H27							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
業界の景況	-20.0	-23.3	-20.0	-26.7	-30.0	-23.3	-38.3	-30.0	-45.0	-33.9	-39.0	-43.3	-33.3
売上高	-31.7	-31.7	-26.7	-25.0	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-43.3	-37.3	-47.5	-30.0	-35.0
収益状況	-25.0	-28.3	-23.3	-21.7	-21.7	-23.3	-31.7	-25.0	-36.7	-27.1	-33.9	-36.7	-36.7
資金繰り	-5.0	-10.0	-5.0	-8.3	-1.7	1.7	-6.7	-11.7	-15.0	-13.6	-10.2	-10.0	-11.7

○5月のDI値は前月と比べ、2項目が悪化し、1項目が改善した。「売上高」DI値は5ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイント悪化し、「業界の景況」DI値は10ポイント改善した。「収益状況」DI値は変わらなかった。前年同月と比べると、全項目が悪化した。「業界の景況」DI値は13.3ポイント、「売上高」DI値は3.3ポイント、「収益状況」DI値は11.7ポイント、「資金繰り」DI値は6.7ポイント悪化した。

5月の連絡員の報告からは、ようやく出荷量も前年並みの水準になりつつあるとの声や好天等もあったが運送収入は比較的好調であったとの声等が寄せられた一方、売上は前年同月比では増加しているが、依然として低水準との声や円安のため仕入価格の上昇が目立ち、その分を販売価格に転嫁出来ない等の声も寄せられ、業種毎の景況に温度差が見受けられた。また、円安等による原材料費の上昇を懸念する声もあり、先行きを注視する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、醤油・味噌製造業から、ようやく出荷量も前年並みの水準になりつつあり、今後の推移を注視したいとの報告が、ハウスウェア製造業からは、受注は弱含みながらやや持ち直しの動きが見られるとの報告が出ている。非製造業では、スポーツ用品小売業から、昨年度は全体的に入部が少なく売上も少々マイナスで心配していたが、今年はまた例年に戻り売上も増加したとの報告が、商店街からは、円安のため仕入価格の上昇が目立つようになり、その分、販売価格に転嫁出来ないとの報告が出ている。